



頻発するレイプから
SELF DEFENCE
「自己防衛スクール」に人気

Catch
Up

アメリカ
おんな版
あなたの
命貰います



急増中、これでは逆に挑発しているよう!?
女性用小型拳銃の購入希望者が



ア

アメリカの女性たちは十人に一人、六分の一の割合合いで起こるレイプ事件を深刻に受け止めている。たとえまだ自分に被害はなくても、身近にいる友人や姉妹がレイプされたり、強盗に狙われるなどで、とても他人事では済まないからだ。

大都市圏では昨年あたりから、学校では、「いい子」で通っている未成年者の集団犯罪も頻発、レイプしたうえ殴る蹴るの暴行を加えるなど悪質なものが多し。いくら「犯罪慣れ」しているアメリカといえども、この十年間で二〇〇％増、近年では年間約八万七千件（FBI報告による。但し届け出された数のみ）ものレイプ発生件数には心を痛めているようだ。そのような状況下、カリフォルニアでは護身術を教える学校が注目され、通学す



実

実際にその女性がレイプされそうになったらどうするか。下の写真は、予め目をつけていた女性の所有する車の中に何らかの手を使っ

て入り込み、その女性が乗り込んで来たところをレイプしようとする男というシチュエーションが設定されている授業中のもの。生徒は強姦魔に扮したインストラクターに本気で抵抗し、防衛訓練しているのだ。

また、アメリカでは八人に一人の女性が護身用にピストルを所持しているという。しかし所持はしていても扱え方がわからなかったり、いざ、という時に役に立たないのでは何にもならない。だから、弾丸のこめ方から、内部構造、射撃訓練を行なうスクールにも女性の姿が目立ってきている。



本気の抵抗のためインストラクターは防具を付けています。今後ますます女性の銃購入希望が増えていくと考えられています。製造会社では早速ガン・ムに便乗。女性向けに、軽量、小判銃を開発し、人気商品はカラフルでファッショナブルならしく、武器というよりアクセサリというもする。自衛手段に切磋琢磨するアメリカおに危害を加えようものなら先に殺られるかも

